

【第42回東京モーターショーにLPG車出展】



LPG車は42回の東京モーターショーの歴史の中で初の単独出展！

1. 概要

(1)開催日 平成23年12月2日～11日(10日間)

(2)来場者数 842,600人

(3)LPG車関係

○LPG車リーフレット配布 約50,000部

○試乗コーナー 約900人試乗

○コンセプトカー 約15,000人見学

○講演会 160人の参加



「自動車に関心のある層」「入場料を払って来場する」モーターショーでのPRは効果につながる。

2. LPG車 展示コーナー（ブース内）

ブースでは映像と実物でLPG車を理解できるようにした。



詳細説明の場として活用した



3. LPG車 展示コーナー（コンセプトカー）

スマートモビリティシティ・コア展示コーナーにコンセプトカー

スタイリッシュ&リングタンク



Web情報:レスポンス・
Yahooにも取り上げられた。

革新性1. 直噴ガソリンエンジン対応の
LPGバイフューエル

革新性2. 世界基準に適合したリング型
燃料タンク



4. LPG車 試乗コーナー

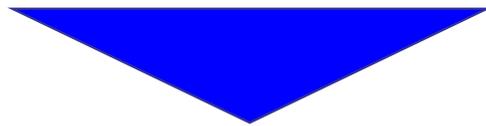
試乗コーナーでは、クルマは同乗試乗、スクーター試乗可能



どの車種も人気だが、「LPG車に乗る」意識より「人気車種に乗る」意識が強い。試乗コーナーは 10時からの先着順となった。

5. 東京モーターショーへの出展成果

- 来場者総数は842,600人で、LPG車リーフレット配布部数は約50,000部で来場者の5%に周知できた。
- 試乗コーナーでは、配布部数の約2%の約900人が試乗
- コンセプトカーでは、場内にはない珍しいクルマとして来場者の約2%約15,000人が見学
- 講演会には定数の120人以上の約160人が参加



エコカーワールド等と違い「自動車関心層」への絞込みPRとしては成功したと考える。

6. 来場者の認識と課題

1. 来場者の殆どが「LPG車＝タクシーのみ」「スタンドがない」「LPG車は世界で普及していない」「LPG車はLPガスのみで走るから燃料供給に不安」と考えている。
 - 「世界はマイカー中心1580万台普及で伸びている」
 - 「日本ではタクシーの約8割がLPG車で、タクシーのある町には必ずスタンド」
 - 「ガソリンも使えるバイフューエル車や航続距離の長いクルマがある」
2. また、来場者は、「LPG車やLPガスには先進性がない」と考えている。
 - LPG車は、国際基準のリング型容器や直噴ガソリン対応型で更に進化。
 - CO2もガソリン比で約12－15%削減可能で現実的。
 - 自動車では販売されていない燃料電池が既に約300万円で市販。
3. 来場者の殆どは特に「LPG車目当て」ということではなく、コンセプトカー・スクーター・映像から興味を持ち、その結果、LPG車を理解した方が多くあった。